

interview

父の勧めでウェイクボードを始めた。最初は波をかぶったり、水面に投げ出されたりで怖くて仕方なかったんです。それでも、毎週兄と練習するうちに技ができるようになって、楽しくなってきました。

1年後には、年上の選手に交じって競技に出場。入賞はできませんでしたが、これならいけるんじゃないかと自信が持てました。3回目の出場でめざしていた表彰台に上がれて、うれしかったですね。技を失敗してしまった時は、悔しくて涙を我慢

できなかったこともあります。プロ昇格のかかった試合は、緊張で足が震えました。プレッシャーで失敗して、後がない状況になってしまいました。家族の応援が聞こえて滑りきるころができました。プロになって、家族も喜んでくれています。

春からはプロとして、大会に挑戦します。女性でできる人がほとんどいない技「ヒールフアイブ」など、新しい技も習得していきたいです。いつか、オリンピック競技になった時に出場するのが目標です。

世界をめざすウェイクボーダー 最年少プロデビュー

技ができるようになるのが楽しい
将来は世界で活躍する選手になりたい



左：ロープ1本でボートに引っ張られながら水上を滑り、空中で技を披露する 上：ロータスサーフアジアの粕谷守男さんと兄が目標と話す岸田さん

プロウェイクボーダー

岸田ひなのさん



けやき坂小学校の6年生。5年生でウェイクボードを始め、1年後のウェイクシリーズアマツアーWOMEN（全5戦）で2位入賞。国内最年少タイ記録でプロ昇格を決める。ロータスサーフアジア所属



【訂正】2月号の31ページ「子どもの健全育成のために寄付」に掲載している団体名に誤りがありました。正しくは、(一社)川西建設協会です。おわびして訂正します。

CHECK & QUIZ

次の空欄(○の中)を埋めてください。

1:特集 施政方針と○算案 2:市北部の桜の名所を掲載 [○里 MAP2019]

クイズ正解者の中から図書カード(1,000円分)を5人に差し上げます(正解者多数の場合は抽選。当選者のみに送付します)。応募方法:市ホームページ(右の2次元コードからアクセス可)から必要事項を送信するか、ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、興味のある記事と感想を書き、3月8日(金)(消印有効)までに〒666-8501・秘書広報課「クイズ」係へ。

※2月号の正解は(自)(美)で、98件の応募がありました。



1月末現在の人口



男.....74,827人 (-27)

女.....83,077人 (-72)

計.....157,904人 (-99)

世帯数...69,720世帯 (-43)

【広報誌が届かない人は(公社)川西市シルバー人材センターへ連絡を フリーダイヤル0120(586)189(平日の午前9時~午後5時半)】